

「五つ星の出雲市」実現のための施策

出雲ブランド推進事業

300万円

出雲のブランド化を推進するため、市民委員会を中心に、具体的な推進方法や市内外への情報発信の方法などを検討・実践していきます。



自治基本条例(仮称)制定検討費

170万円

市民委員で構成する市民懇話会での検討によりまとめられる提言書をもとに、専門家を交え条例案を作成し、広く

市民の皆さんの意見も反映させながら、平成24年度の条例施行をめざします。

行政改革推進費

130万円

出雲市行政改革推進委員会(仮称)を常設設置するとともに、ゼロベース評価委員会を開催し、市の事務事業の見直しを行っていきます。

外部監査費《新規》

700万円

監査委員の監査を補完し、監査機能の一層の充実・強化を図るため、新たに外部監査制度を導入します。

産業都市の創造

出雲ブランド商品認定事業《新規》

150万円

全国に通用する優良な地域産品を「出雲ブランド商品」として認定し、本市の認知度やイメージ向上、流通拡大による産業経済の活性化につなげていきます。

貿易振興対策事業《新規》

100万円

新たなビジネス展開を図るため、東アジアを中心に販路拡大を支援し、産業・経済の振興を図ります。

Uターン就農者定着支援事業《新規》

120万円

農村地域の定住定着を促進するため、新規就農兼業農家の営農生活に要する経費を助成します。

農地・水・環境保全向上対策事業

2,979万円

農地・水・環境の良好な保全と質的

向上を図るための活動交付金として鳥根県地域協議会へ負担します。

松くい虫対策事業

2億2,267万円

健全な松に対する樹幹注入処理や枯れ松の伐倒駆除・油剤処理による松くい虫被害の拡大を防ぐとともに、抵抗性マツの植栽を実施していきます。



有害鳥獣被害対策事業《拡充》

7,700万円

シカ、イノシシなどの野生鳥獣から農林業及び生活環境被害を防止するため、捕獲による頭数管理や被害防止施設などによる対策を行います。シカ被害対策として弥山産地の生息頭数180頭、湖北山地ゼロ頭を目標に捕獲を強化します。

合併関連経費

5億8,889万円

10月1日の斐川町との

合併に係る経費

電算統合経費負担金

3億円

地理情報システム統合経費

1億2,300万円

合併準備経費

1億6,200万円

合併協議会負担金

389万円

出雲神話観光大国の創造

観光誘客推進事業《新規》

3,787万円

地域にある魅力的な観光資源を活用し、アピールしていく着地型旅行商品の開発を行い、正遷宮後も全国から注目され続ける観光地づくりを推進します。

ご縁広場活用検討事業《新規》

190万円

民間活力の導入を前提とした道の駅「ご縁広場」の再整備を進めます。

門前町再生事業《新規》

3,280万円

県が施行する神門通り整備に併せ、

都市・交流拠点の創造

街路事業

6億4,830万円

上成新町線、下沢高西線外2線、大

津中央一の谷線2工区、医大前新町線3工区、北荒木赤塚線2工区、二京町

ポケットパークやトイレ、サインを整備し、観光客のまち歩きにつなげます。

出雲大社周辺地区

街なみ環境整備事業

1億8,700万円

社家の街なみや出雲大社の参詣道の趣きを活かした景観整備や住環境を整備します。

レンタサイクル事業《新規》

380万円

現在行っている自転車貸出事業を引き続き内容を拡大して実施します。

三京町線2工区、元町中の島線などを整備します。

幹線道路事業

10億4,750万円

長浜神社下線外1線、今市川跡日下線、北本町谷田谷線、大西新線、板津線、城川石場線、下遥堪22号線・菱根35号線、十六島線などを整備します。

環境先進都市の創造

トキによるまちづくり事業

400万円

トキをシンボルとして「人と自然が共生できる地域づくり」を推進し、出雲に住み、生活をしていることを誇りに思えるまちづくりを進めます。



スマートインターチェンジ

調査検討費《新規》

山陰自動車道斐川ICから出雲IC間において、スマートインターチェンジが設置可能かどうか調査検討します。

平田消防署庁舎移転

新築事業《新規》 6,190万円

平田消防署建設候補地の用地取得、造成測量、設計を行います。

AED遠隔地域配備事業《新規》

24万円

救急車到着まで時間を要する地域にAEDを配備し、救命率の向上を図ります。